

年 組 名前：



「いちご公園」を整備する角広志さん。事業を進めるための資金を募る
 〓南アルプス市下今井

遊休地で果樹栽培、公園に

一般社団法人「いちご公園」は、南アルプス市内で遊休農地の整備を進めている。2021年から借りた農地で山ウドや桃、キウイフルーツなどを栽培し、地域住民や観光客を受け入れる「公園」としての活用を目指す。農地拡大のため、整備に必要な重機の購入

資金を募るクラウドファンディング（CF）も始めた。創設者で副理事長の角広志さん（82）〓同市下今井〓は「高齢者や子どもが集い農業に触れる場として、市外にも取り組みを広げたい」と話す。
 〈白松優〉

南ア市 一般社団法人が整備 農業体験や集う場 創出



優登 松川 戸皆

角さんは、東京都内で広告企業の経営や地域の魅力を発信するNPO法人の運営などを手がけ、18年に市の滞在型農園「南アルプスライオンガラン」を利用した。気候や自然の豊かさが気に入り、19年8月に移住。耕作放棄地が目につき「地域のために有効活用できないか」と事業を思い立った。
 21年からJA南アルプス市を通じて遊休農地を借り受け、現在市内66カ所計6畧の農地で、キウイやグミ、ユズい」と話している。

ラウメなどを栽培。事業の継続性と公共性を担保するため、24年9月に一般社団法人化した。高齢者の健康づくりや、子どもの農業体験に活用してもらおうと、樹木は低木に仕立てる。季節の果樹をその場で収穫して食べられる公園として、3年後に無料開放する予定だ。

(2026年4月4日付 山梨日日新聞14面)

問1

一般社団法人「いちご公園」は、南アルプス市内の遊休農地で、なにを栽培していますか。

.....

問2

栽培している樹木は、低木にするようです。その理由を教えてください。

.....

問3

創設者で副理事長の角さんは、この場所を、どのような公園にしたいと考えていますか。

.....